

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立七九州市立千々中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

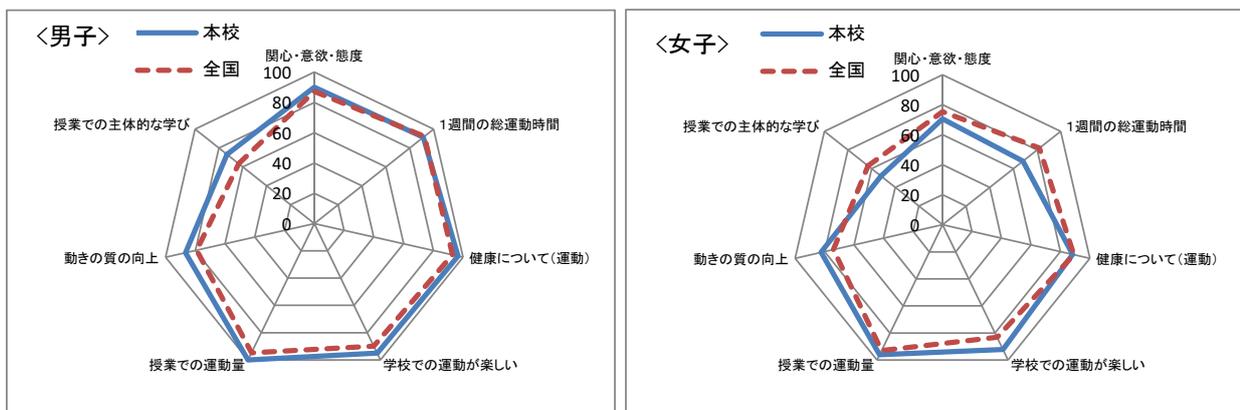
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

日頃の生活習慣において本校の生徒は、体育の授業時間以外で運動やスポーツを行っている(1週間に60分以上)の割合が高いとはいえ、女子については1週間の総運動時間が全国平均より、14%下回っている。

保健体育の授業では、男女ともに十分な運動量を確保できており、男子は100%が肯定的な回答である。男女とも授業を通して自分の動きの質が向上していると実感している生徒の割合も高い。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

コロナ禍におけるオンライン授業でも、タブレット端末を通して毎時間サーキットダンス(体づくり運動)に継続して取り組み、日頃から運動に親しむ生徒を育成する。また、運動後、めあてに沿った振り返りを行い、各自に課題意識をもたせるとともに、主体的に運動に取り組む態度を育む。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体育の授業時間以外で運動やスポーツをしたり、観戦したりすることを通して、楽しさや喜びをよりいっそう味わうことができるようにしていくことが本校の課題である。そこで、授業で実施する単元に関連して、家庭でもできる体力づくりの紹介やスポーツの試合の情報提供などを行う。